

壁新聞にご利用ください。

明るい港

発行
 横浜港防犯協会
 横浜市中央区海岸通1-1番
 電話 (201) 2982番
 印刷所 (南) ハマ印刷
 TEL(260)0266

新年のご挨拶

横浜港防犯協会
 会長 藤木幸太



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春をお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また旧年中は、当防犯協会に皆様方から多大なご協力を賜りまして、改めて厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国外では依然、紛争・略奪と痛ましい事件が数多く起り、ロシアにおいてはの鉄道爆破テロなども記憶に新しいところでもあります。また国内に目を向けますと、振り込め詐欺の被害は警察関係の方を始めとした皆様方のご努力で減少傾向になりましたが、覚せい剤、MDMA、大麻など禁止薬物にまつわる事件などが目につき、一説には「第三次覚せい剤乱用期」に突入したのではないかと一部の声も上がっております。

皆様も良くご承知のとおり、私たちはヨコハマを基盤に多岐に渡って活動しておりますが、輸出入禁止品目でもあり、また犯罪に直結するこのような禁止薬物の流入は、警察関係や税関関係の方々とともに、我々も一致団結し断固として水際で排除しなければなりません。当協会といたしましては従来より、横浜水上警察署、横浜港防犯指導員連絡会、横浜水上少年補導員連絡会、横浜水上地域防犯連絡所連絡協議会並びに自治体の方々と防犯バ

トルール、振り込め詐欺撲滅キャンペーンなどの多くの防犯活動を実施して参りましたが、不正薬物の水際排除を含めて今後もこの防犯活動を力強く推進していかねばならぬと強く感じております。

また本年十一月には、日本での開催としては十五年振りとなる「APEC首脳会議」がこの横浜で開催されますが、この重要な国際会議の開催を受け、神奈川県では県警本部が先頭に立ち、昨年十一月には「APEC首脳会議対策協議会」が組織され、その設立総会が開かれました。当防犯協会といたしましては、横浜水上警察署、関係官庁、関係団体、並びに関係企業、地域住民の方々との密接な連携を取り、万全な準備をしながら防犯活動あるいは情報交換などに努めながら、APEC首脳会議の成功に協力をしなければならぬと考えております。しかしながら、当防犯協会としての尽力には、会員各位並びに関係各位の皆様方のご協力が不可欠です。皆様方のご理解とご協力を是非とも宜しくお願い申し上げます。

結び、会員各位の皆様方、関係各位の皆様方、またご健勝とご活躍を心より祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

また、六月には、金沢区幸浦沖でばらばら死体が発見され、当署に特別捜査本部を設置し、所要の捜査の結果、関係被疑者多数を逮捕して事件を解決致しました。

全国的な犯罪の傾向としては、ひったくりが増加して、振り込め詐欺に歯止めがかからないなど、弱者に対する犯罪が頻発しております。また、有名人等が薬物乱用で逮捕され、当署でも大量の大麻等を押収するなど違法薬物の蔓延が懸念され、治安再生への道筋が半ばであることと実感した一年でありました。

新年のご挨拶

横浜水上警察署長
 大塚和久



新年あけましておめでとうございます。横浜港防犯協会の皆様方におか

けます。結び、横浜港防犯協会の益々のご発展と会員皆様方のご家族共々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長
 片岡幹雄



新年明けましておめでとうございます。横浜港防犯協会会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えになられたこと、心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様方には、日頃より税関行政、取分け監視行政に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、横浜港開港一五〇周年と倉庫周辺は「開港博Y150」記念イベントで連日大賑わいでしたが、新たな年を迎えて普段通りの落ち着いたある風情を見せており、港で働く一員として心の安まる思いがします。

さて、昨今の税関を取り巻く環境は、世界経済不況に伴う貿易量の減少、各国との経済連携協定の推進、安全管理と法令遵守の体制が整備された貿易関連事業者を認定し、通関を円滑化する所謂「AEO制度」における外国との相互承認の取り決め等、変化著しいものがあります。貿易秩序の確保と円滑な発展のために、税関として引き続き適切に対応してまいります。

さらに、国民の安全・安心の確保は税関の大きな責務であり、不正薬物・銃砲等の社会悪物の水際取締りのみならず、テロ対策や知的財産侵害物品の密輸阻止の対応、対北朝鮮制裁措置の徹底など、税関の果たす役割は近年ますます重要になってきており、その一端を担う者として年頭にあたり身の引き締まる思いがします。特に覚せい剤の水際取締りにおいては、昨年の摘発実績はまだ集計中ですが、過去最高を記録した

新年のご挨拶

横浜市港湾局長
 川口正敏



新年明けまして、おめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

横浜港防犯協会会員の皆様方には、日頃から横浜港の振興・発展にご協力をいただき、ともに、山下ふ頭での防犯キャンペーン、年末の夜間の合同パトロールなど各種犯罪の予防活動や啓発活動を所轄警察署及び関係団体ご協力のもと積極的に実施され、また、本牧ふ頭、大黒ふ頭、山下ふ頭の各ふ頭内では、危険な台切シャシーや不法駐車を防止するため、社団法人神奈川県トラック協会、会場コンテナ部会との合同夜間パトロールを定期的に実施されるなど、横浜港内の犯罪防止にかかる広報活動など安全な港づくりに御尽力賜り、厚くお礼申し上げます。

この様な取り組みは、横浜港防犯協会をはじめ、港に関する様々な団体が協力し、活動することで港の安全安心が確保されるものであり、日頃からの皆様の取り組みに改めて敬意を表する次第です。

さて昨年、横浜港は開港一五〇周年を迎え、港湾局においては、象の鼻パークや横浜みなと博物館のオー

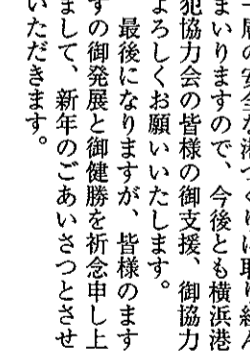
ブン、「海フェスタよこはま」を始めとする数々の記念行事を実施し、この節目の年を祝うことができました。これもひとえに関係の皆様方の御支援、御協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

そして、本年は十一月に横浜においてAPEC首脳会議の開催が予定されており、多くの関係者が港周辺に集うことから、横浜港の防犯対策、安全対策が極めて重要になります。本市といたしましては関係機関や関係事業者の皆様との連携を密にし、一層の安全な港づくりに取り組んでまいりますので、今後とも横浜港防犯協会の皆様方の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のお申すの御発展と御健勝を祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
 会長 渡邊清治郎



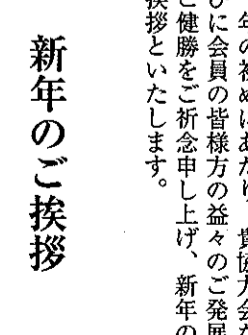
新年明けましておめでとうございます。横浜港防犯協会会員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には平素より、横浜水上交通安全協会の運営につきましても、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、貴協会は日頃より犯罪防止のための広報、啓発活動や、会社、事業所等への各種防犯活動を積極的に行われ、犯罪のない明るく住みよい街づくりに多大の貢献をされておられますことに対し、感謝と敬意を表する次第であります。特に今年秋にはAPEC（アジア・太平洋経済協力会議）が横浜みなとみらい地区にて開催され、諸外国から多くの要人、観光客が訪れ横浜港全体が活気を帯び、みなとみらい地区の横浜赤レンガ倉庫や、大黒橋等にて多くの観光客が集中する場所が増え、週末には早朝から夜遅くまでにぎわうと思われまます。このため多種多様

新年のご挨拶

横浜市中区長
 中上直



新年あけましておめでとうございます。横浜港防犯協会会員の皆様におかれましては、平成二十二年の輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

藤木会長をはじめとする横浜港防犯協会会員の皆様方には、平素から横浜市政・中区政に多大なるご支援とご協力を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。また、横浜港内の安全・安心な防犯対策の諸活動の推進に多大なる貢献をされていることと心から感謝をいたします。

皆様のお力により、横浜港周辺では日頃から多くの観光客が訪れ、さらに数少ない国内主要港としての役

の犯罪が発生し治安情勢は厳しく、今後、貴防犯協会の皆様の果たされる役割は益々重要性をおび、皆様方の活躍に大きな期待が寄せられているところでございます。

交通問題につきましては神奈川県内では、昨年の十一月末までの交通事故件数は一昨年より四％減少、死亡事故につきましても四％減少し、マインナス七名となりました。

横浜水上警察署管内では、交通事故件数は、交通安全協会といたしましては、交通安全を中心として、貴防犯協会をはじめ、県、市、中区、警察等関係機関のご指導、ご協力をいただきながら、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組む事を通じて、交通事故の撲滅に向けて努力する所存でありますので、どうぞ宜しくお祈り申し上げます。

年の初めにあたり、貴協会ならびに会員の皆様方の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

壁新聞にご利用ください。

割を果たし、国際的な地位を確保することができております。特に昨年は、横浜開港一五〇周年にあたり、臨海部におきましては、横浜開港の象徴として、記念のイベントが数多く開催され、国内外から非常に多くの方々に訪れていただき、大きな事件・事故等がなかったことができたのも、皆様のおかげです。また、皆様のご活躍の賜物であると感じております。

さて、本年も横浜にとっては大変重要な一年となります。横浜開港一五一年目として次の五十年を目指して歩み出す年であり、十月には羽田空港の国際化、さらには、十一月にはAPECがこの横浜で開催されます。

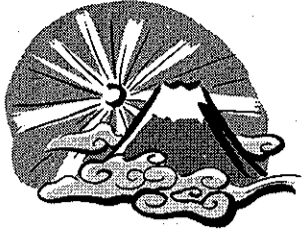
特にAPECでは、主要な会場がみなとみらい地区であり、首脳をはじめ各国の要人が臨海部において一堂に会するため、交通や会場周辺の立入り等様々な規制が予想され、最高レベルの警戒態勢をしくこととなります。

したがって、これまで以上に犯罪のない「明るい港」の推進が求められており、これは皆様のお力なくしては実現するものではありません。日頃から地域に根ざした活動に取り組んでいる皆様のお力こそ、これからの横浜の未来を切り開いていくのだと思っております。

横浜港を訪れた方々に「来てよかった」と言ってもらいたく、また横浜に暮らす方々に「私たちに素晴らしい港がある」と誇りを持っていただけるよう、ぜひ皆様と一緒に魅力あふれる「安全な港」「明るい港」をさらに推進してまいります。

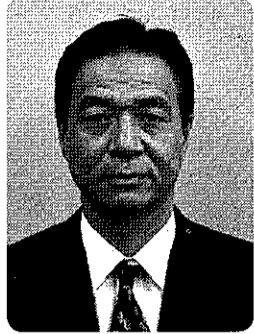
中区としましても、区民をはじめ事業者、関係機関の皆様と協働し、横浜の中心区としての役割を果たしていきたくと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

最後に申し上げますが、横浜港防犯協力会様の益々のご発展と会員の皆様のご健康を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

横浜海上保安部長 小川 泰治



新年あけましておめでとうございます。横浜港防犯協力会の会員の皆様方におかれましては、平成二十二年度の穏やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様方には常日頃から横浜海上保安部の業務に對しまして深いご理解とご協力並びにご支援を賜り、紙面をお借りしまして心から御礼申し上げます。

横浜港防犯協力会におかれましては昭和二十二年六月に設立され、以来六十三年もの長きにわたり横浜港の安全・安心に大きく貢献されてこられました。ここに関係の皆様方のご尽力に對しまして、心から敬意を表する次第でございます。

昨年は横浜開港一五〇年目の記念すべき年でありました。四月から九月にかけて臨海部を中心に「開国博Y150」としての多くの記念行事、催しが行われ、横浜海上保安部も積極的に応援協力して参りました。特に、七月に開催された「海フェスタよこはま」では巡視船の体験航海や一般公開等を行い、来場された約一万人の方々に海上保安業務を紹介すると共にミニナット横浜の魅力の大きいアピールすることができました。

さて、昨年も横浜海上保安部管内では、色々な事件事故が有りましたが、皆様方のお陰でいずれも大事に至ること無く、また、台風の襲来や地震等の大きな自然災害も有りませんでした。

他方、横浜海上保安部管内を除く周辺海域では多くの大きな事件や事故がありました。中でも昨年の十月下旬に八丈島近海で発生した漁船遭難事故では、未だ四名の方々が行方不明であり同じ海を職場とする者として心痛むところですが、当部の巡視船「いず」の潜水士により、転覆船内に約九十時間閉じ込められていた生存者三名を救助することができたのは幸運であると共に日頃の厳しい訓練の賜物であると思っております。

今年も、APEC(アジア太平洋経済協力)が日本で開催され、この横浜においても十一月に首脳会議などが行われます。地元横浜の威信にかけて、この会議を是非とも無事に終わらせなければなりません。

最近の社会情勢をみますと、昨年十一月にロシアで爆弾テロにより特急列車が脱線し多数の死傷者が出る等国際的なテロリズムは依然衰えを見せることなく、また密航・密輸犯罪も悪質巧妙化の一途を辿るなど、厳しさを増すばかりです。

このような状況を踏まえ、昨年十一月、横浜海上防犯基地において横浜水際警備管理センター・オブザーバーを中心に、警察、海保、税関、横浜市等の参加と横浜港保安委員会、SOLAS小委員会などの協力を得て、テロ事案対応能力の向上を図る横浜水際警備管理対応合同訓練を実施したところです。

加えて昨年十月、横浜海上保安部に待望の大型巡視船「しきね」が新たに配属になりました。巡視船「しきね」は、平成十六年に発生した尖閣諸島漁船衝突事件の事後調査を契機に、海上テロ対策を目的として整備され、小型艇燃料油や航空機燃料油等が補給可能な母船機能を有する「拠点機能強化型」巡視船として建造されたもので、総トン数約千三百二十トン、全長約八十九メートル、速力二十七ノット以上の性能を有し、赤外線捜索監視装置、ヘリコプター撮影画像伝送システム、複合型ゴムボート等最新鋭の装備を備えた大変頼もしい戦力です。皆様方の期待に十二分に応えることができるものと思っております。

横浜港が世界一安全で安心できる港であり続けていくためには、そして、横浜APECを成功させるためには、官民の関わり、団体、そして地域住民の方々と心を一つにした地域ぐるみでの対応が欠かせません。今後とも会員の皆様方の一層のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、年頭にあたり、横浜港防犯協力会の益々のご発展と、会員の皆様のご健康並びに本年が輝かしい年になることを祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。

昨年八月の衆議院議員選挙で戦後以来の政権交代が起こりました。これはいわゆる現代での革命に相当する出来事です。現政権はこれまでの戦後の続いた長期政権と一線を画した革命政権です。事実、新政権における前原誠司国土交通大臣が是非港の活動を勉強したいと急遽十月に私を訪ねて来られ、横浜港を直に視察し、林横濱市長にも面会しました。これは要するに国の要(かなめ)である交通・物流の大きな問題点を抜本的に改革しようという前原大臣の意気込みそのものからきた動きであります。羽田空港の国際ハブ化構想を提唱し、成田空港の見直しを図り、航空・空港の政策見直しを図った直後の横浜港訪問でした。端的に言うならば、国際的な競争力を強化するには空港ばかりでなく港湾もハブ化を国策としてすべきという強いメッセージがこめられたものです。

本年はこの国内港湾の見直しと国際ハブ化の動きが急速に進展してまいります。前原大臣の港湾のハブ化構想の意向を受けて国土交通省は「国際戦略港湾」を本年中に選定します。わが国で一つか二つの港湾を選択すると表明しています。勿論、横浜港も我々港湾人として手を上げます。この国際戦略港湾の要件として、①集荷力があり、地理的な優位性がある②コスト的に国際競争力がある③安心・安全で信頼でき、様々なサービスが受けられる④環境にやさしいなどが挙げられています。①については、横浜は関東地域という日本最大のGNP地域を抱えており、さらに海洋的にはアジアの東端に位置し、船舶の航行上非常に重要な位置にあり、さらに大型船の停泊に必要な水深も確保できる最高の地理的な位置にあります。②のコストですが、これは今後国策で港湾を経営するという視点こそが大事であり、新しい体制を提案して行きます。④の環境にやさしい港ですが、これは言わずもがなであり、港内の輸送機器のハイブリッド化、燃料電池・太陽光発電・風力発電の導入など今後検討してまいります。問題③の安心・安心・信頼と様々なサービスという部分であります。例年言っています、日本は「水と安全はただ」という感覚が色濃く残っている。今年それを打破して具体的な安全・安心を確保する手立てを打とうと思っております。財務省関税局横濱税関さんの所掌事項ですが、社会悪物の根絶という点で水際の進入防止と共に海外への輸出貨物等にも安心感を持たせるため、国際的な協調制度としてAEO(認定された貿易関連事業者)制度が二〇〇八年四月に施行されておられ、このAEO制度の適合化を横浜港として取り組んで参ります。さらに本年は港全体の安全レベルを上げる手立てを他にもいろいろ提案させて頂きながら推進して行きます。本年十一月にAPEC総会が横浜で開催されます。新政権が標榜している東アジア経済圏の発展への寄与と日本のプレゼンスの向上という点からこのAPECを成功させなければなりません。そのためには安全・安心なミニナット・ヨコハマを構築して行くことがありませんか。このような努力がなくては安全・安心、信頼できる港ということになります。



新年のご挨拶

横浜港運協会 会長 藤木 幸夫



港湾人の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は横浜開港一五〇周年記念という、我々横浜港で働く身にとっても誠にめでたい年でありました。一方、一昨年の九月に端を発した米国のリーマンブラザーズの破綻をきっかけに一気に世界同時恐慌にまで至ってしまったその影響はわが国にも押し寄せ、今や未曾有の大不況と化し先づき不透明な状況が続いています。これは行き過ぎた市場原理主義、外国の勝手なマネーゲームの影響、偏った富の配分などに起因しているものといわざるを得ませんでした。我々港湾人は横浜港をここれらの弊害から守るためにことごとくシャットアウトして防波堤の役目を果たしました。我々の基本的な考え方であるGNO(義理人情恩返し)精神を守り、定着させるに至っています。

昨年八月の衆議院議員選挙で戦後以来の政権交代が起こりました。これはいわゆる現代での革命に相当する出来事です。現政権はこれまでの戦後の続いた長期政権と一線を画した革命政権です。事実、新政権における前原誠司国土交通大臣が是非港の活動を勉強したいと急遽十月に私を訪ねて来られ、横浜港を直に視察し、林横濱市長にも面会しました。これは要するに国の要(かなめ)である交通・物流の大きな問題点を抜本的に改革しようという前原大臣の意気込みそのものからきた動きであります。羽田空港の国際ハブ化構想を提唱し、成田空港の見直しを図り、航空・空港の政策見直しを図った直後の横浜港訪問でした。端的に言うならば、国際的な競争力を強化するには空港ばかりでなく港湾もハブ化を国策としてすべきという強いメッセージがこめられたものです。

本年はこの国内港湾の見直しと国際ハブ化の動きが急速に進展してまいります。前原大臣の港湾のハブ化構想の意向を受けて国土交通省は「国際戦略港湾」を本年中に選定します。わが国で一つか二つの港湾を選択すると表明しています。勿論、横浜港も我々港湾人として手を上げます。この国際戦略港湾の要件として、①集荷力があり、地理的な優位性がある②コスト的に国際競争力がある③安心・安全で信頼でき、様々なサービスが受けられる④環境にやさしいなどが挙げられています。①については、横浜は関東地域という日本最大のGNP地域を抱えており、さらに海洋的にはアジアの東端に位置し、船舶の航行上非常に重要な位置にあり、さらに大型船の停泊に必要な水深も確保できる最高の地理的な位置にあります。②のコストですが、これは今後国策で港湾を経営するという視点こそが大事であり、新しい体制を提案して行きます。④の環境にやさしい港ですが、これは言わずもがなであり、港内の輸送機器のハイブリッド化、燃料電池・太陽光発電・風力発電の導入など今後検討してまいります。問題③の安心・安心・信頼と様々なサービスという部分であります。例年言っています、日本は「水と安全はただ」という感覚が色濃く残っている。今年それを打破して具体的な安全・安心を確保する手立てを打とうと思っております。財務省関税局横濱税関さんの所掌事項ですが、社会悪物の根絶という点で水際の進入防止と共に海外への輸出貨物等にも安心感を持たせるため、国際的な協調制度としてAEO(認定された貿易関連事業者)制度が二〇〇八年四月に施行されておられ、このAEO制度の適合化を横浜港として取り組んで参ります。さらに本年は港全体の安全レベルを上げる手立てを他にもいろいろ提案させて頂きながら推進して行きます。本年十一月にAPEC総会が横浜で開催されます。新政権が標榜している東アジア経済圏の発展への寄与と日本のプレゼンスの向上という点からこのAPECを成功させなければなりません。そのためには安全・安心なミニナット・ヨコハマを構築して行くことがありませんか。このような努力がなくては安全・安心、信頼できる港ということになります。

本年こそ横浜港保安協会、横浜港防犯協会、さらに警察、海上保安庁、横浜税関、横浜検疫所などの縦横斜めに亘る連携と我々港湾人さらには横浜市民が一体となって横浜港を守り、国際戦略港湾としての横浜港の採択、APEC開催の成功を導くにはありませんか。皆さんのご協力を是非お願いいたします。

本年こそ横浜港保安協会、横浜港防犯協会、さらに警察、海上保安庁、横浜税関、横浜検疫所などの縦横斜めに亘る連携と我々港湾人さらには横浜市民が一体となって横浜港を守り、国際戦略港湾としての横浜港の採択、APEC開催の成功を導くにはありませんか。皆さんのご協力を是非お願いいたします。

本年こそ横浜港保安協会、横浜港防犯協会、さらに警察、海上保安庁、横浜税関、横浜検疫所などの縦横斜めに亘る連携と我々港湾人さらには横浜市民が一体となって横浜港を守り、国際戦略港湾としての横浜港の採択、APEC開催の成功を導くにはありませんか。皆さんのご協力を是非お願いいたします。

本年こそ横浜港保安協会、横浜港防犯協会、さらに警察、海上保安庁、横浜税関、横浜検疫所などの縦横斜めに亘る連携と我々港湾人さらには横浜市民が一体となって横浜港を守り、国際戦略港湾としての横浜港の採択、APEC開催の成功を導くにはありませんか。皆さんのご協力を是非お願いいたします。

新年 謹賀

横浜港防犯協力会



個人賛助会員

- 藤木 幸夫
- 松本 吉弘
- 笹田 照近
- 田端 彰
- 原田 龍次郎
- 酒井 英治
- 外園 賢治
- 井上 幸仁
- 鈴木 孝裕
- 花島 孝明
- 白井 茂樹
- 木田 收
- 小林 淳一郎
- 菅井 克枝
- 今田 勲
- 藤木 幸太
- 守屋 秀信
- 中本 慎夫
- 魚谷 憲治
- 小儀 和宏
- 藤木 幸夫
- 大塚 和久
- 中上 直
- 中富 章夫
- 中村 章拓
- 藤木 幸太
- 守屋 秀信
- 小林 誠司
- 野田 秀夫
- 伊東 敬生
- 小儀 和宏
- 松本 雅己

諸官庁ならびに諸団体より寄せられました年頭の挨拶掲載は紙面の都合上順不同となりましたことをご了承いただきます。(編集部)